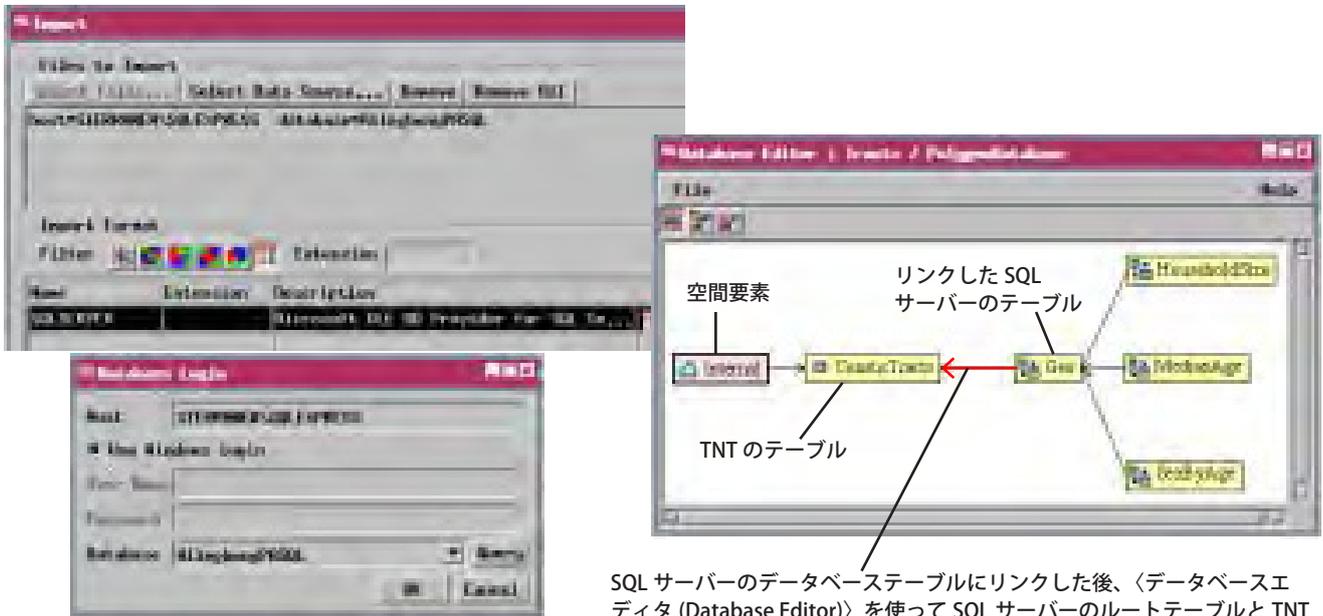


SQL サーバーデータベースへのリンク

ご存知でしたか?... TNT 空間オブジェクトを SQL サーバーのデータベースの属性にリンクできます。

SQL サーバーのデータベースにリンクすることで...

- 空間属性をメインサーバーのリレーショナルデータベースで管理できます。
- 属性データを他のユーザやソフトウェアと透過的に共有できます。
- リンクした空間データはサーバーネットワークの中の Windows コンピュータ内で移動可能です。
- 最初にデータベースのリンクを確立する時だけ、データベースへのログインが必要です。
- SQL サーバーのテーブル間の全キーフィールドの関連づけはリンクしても維持されます。
- リンクした SQL サーバーの属性に基づいて要素のスタイルとデータタイプを設定できます。
- 更新した属性値は、TNT でテーブルを開く時や再読み込み (リフレッシュ) の時にも自動的に反映されます。



SQL サーバーのデータベーステーブルにリンクした後、〈データベースエディタ (Database Editor)〉を使って SQL サーバーのルートテーブルと TNT のテーブルのキーフィールドを手動でリレートします。

SQL サーバーのデータベースにリンクする方法

- SQL サーバーのルートテーブルに主キーフィールドがあって、その値が、TNT テーブルの値と一致することを確認します。
- 「Import(入力)」処理で、[SQL SERVER] 形式を選択します。
- [データソースの選択...(Select Data Source...)] ボタンを押して、希望のデータベースにログインします。
- 〈インポートパラメータ (Import Parameters)〉ウィンドウの [リンクのみ (Link Only)] トグルをオンにします。
- SQL サーバーのテーブルへのリンクを含む TNT オブジェクトの要素データベースを選択します。
- リンクを作成したら、〈データベースエディタ〉を使って、リンクした SQL サーバーのルートテーブルを要素にアタッチした TNT テーブルにリレートします。

さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください：
**地理データのインポート
(Importing Geodata)**

(翻訳) 株式会社 オープン GIS
東京都墨田区吾妻橋 1-19-14
紀伊国屋ビル 1F
Tel: (03)3623-2851
Fax: (03)3623-3025
E-mail: info@opengis.co.jp

